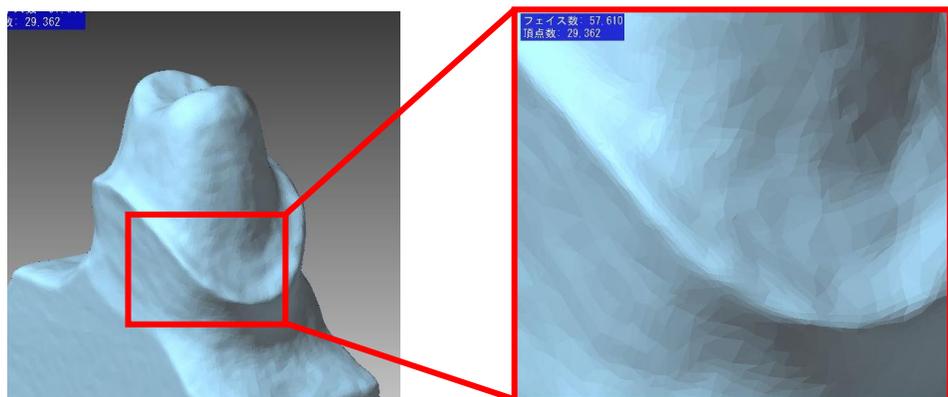


POLYGONALmeisterの 機能について

1. 稜線化

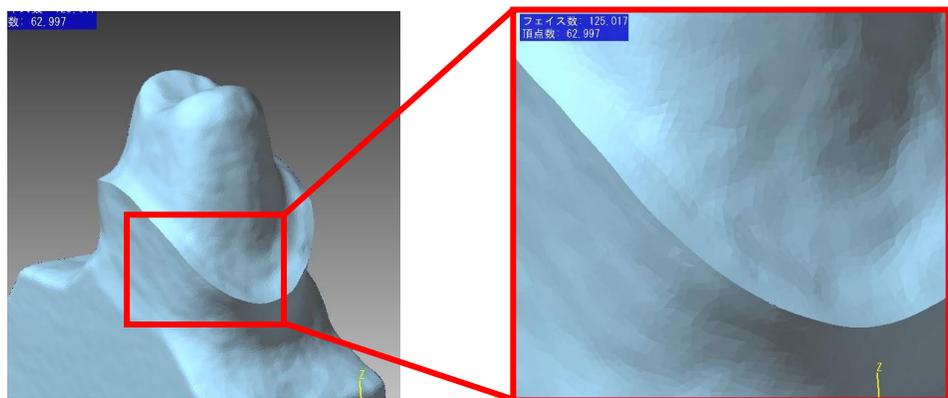
スキャンデータの丸みを帯びた稜線を、シャープな稜線に修正することができます。

※周辺のフェイス(メッシュを構成する三角形)から仮想形状を作成するため、現物と同様の形状になる訳ではない。



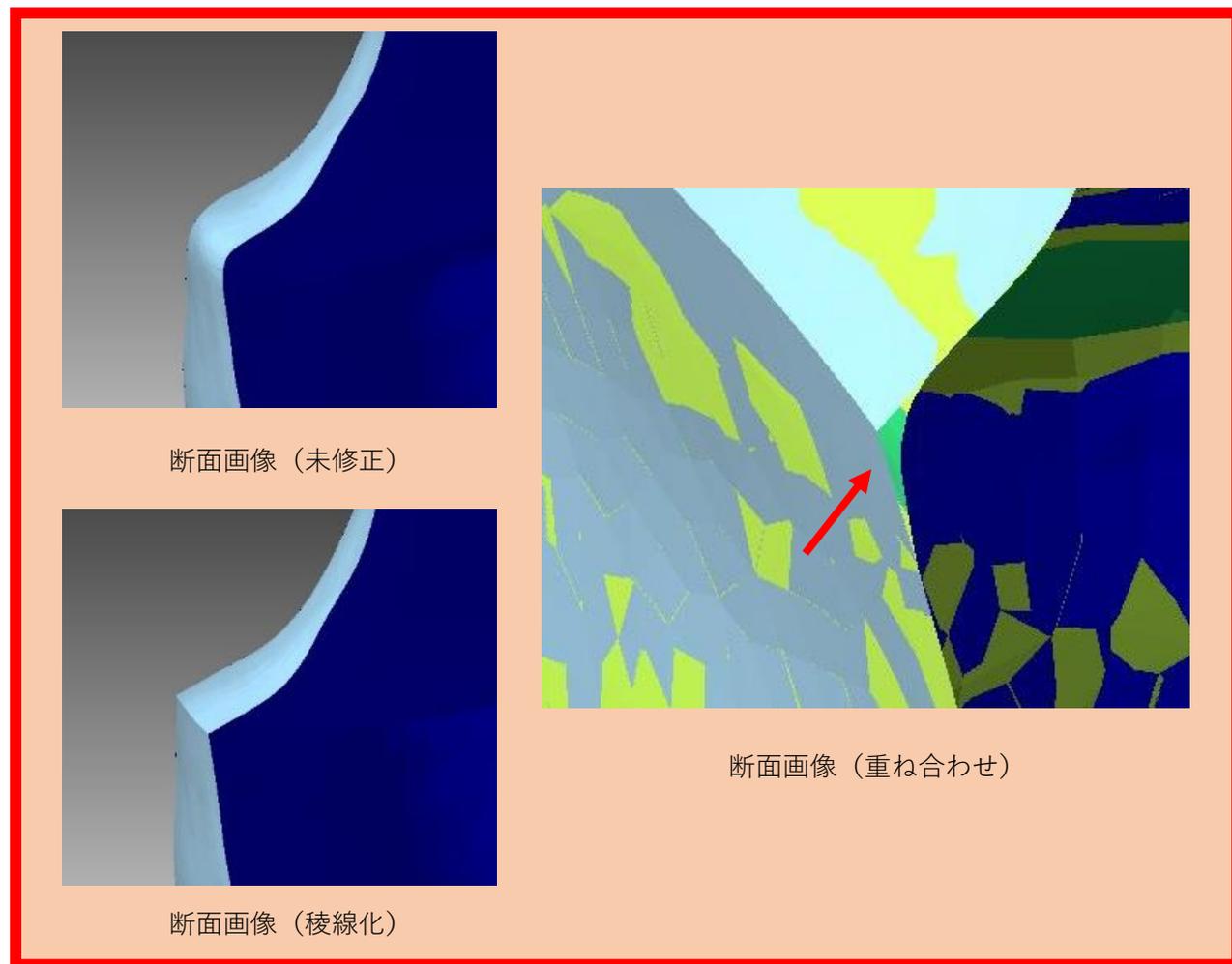
未修正データ

拡大画像 (未修正)



稜線化データ

拡大画像 (稜線化)



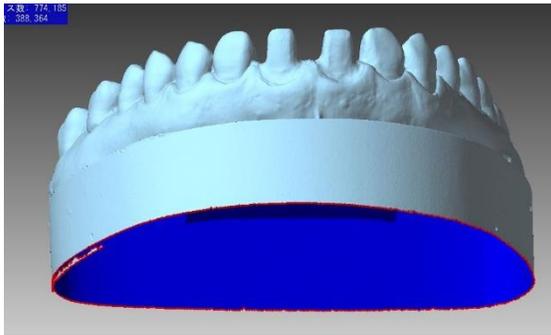
断面画像 (未修正)

断面画像 (重ね合わせ)

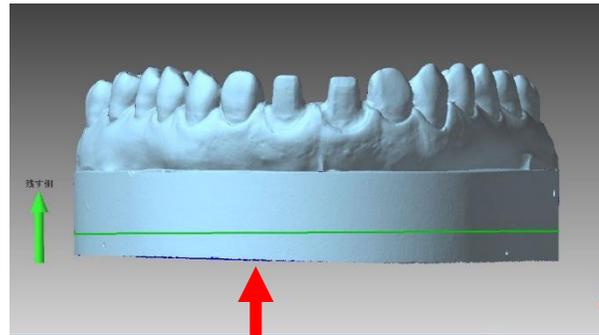
断面画像 (稜線化)

2. 切断

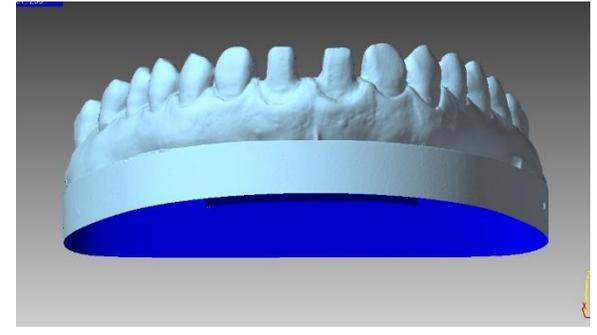
不要な箇所を切断し、穴の開いた面を、平面で埋めることができます。口腔内スキャナーのデータを元に、3Dプリンターで歯列を造形する際に活用できます。



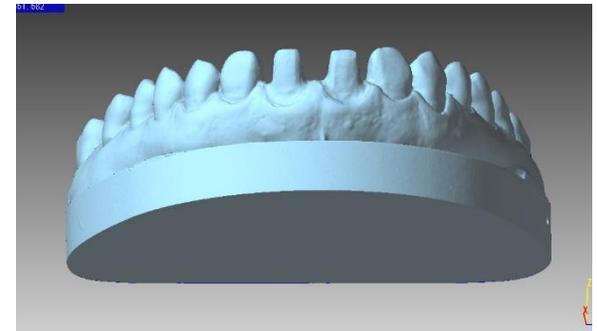
底面に穴が開いている状態
(濃い青の部分が穴)



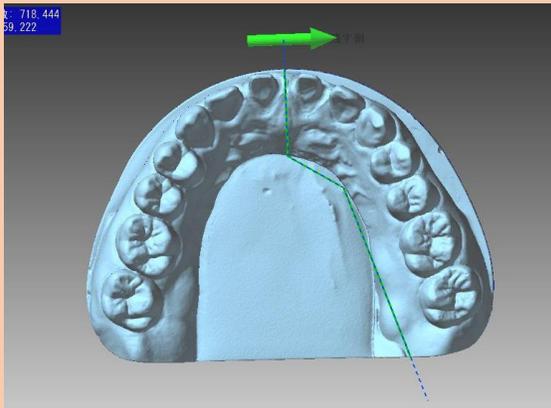
切断したい境界線を作成
(黄緑の線が切断線で矢印のデータを残す)



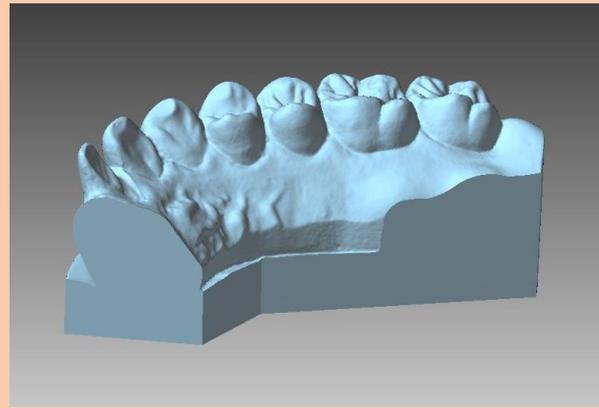
切断時に穴埋めを行わない場合
(濃い青の部分が穴)



切断時に穴埋めを行った場合



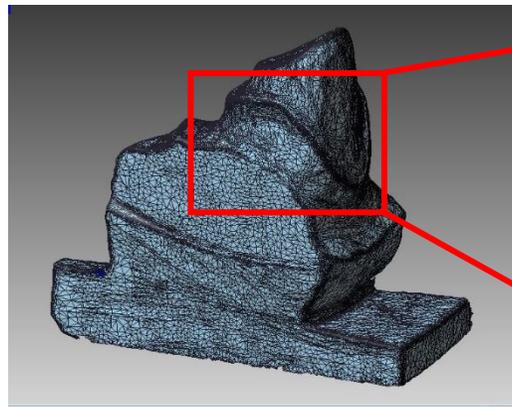
切断線を折れ線にした場合



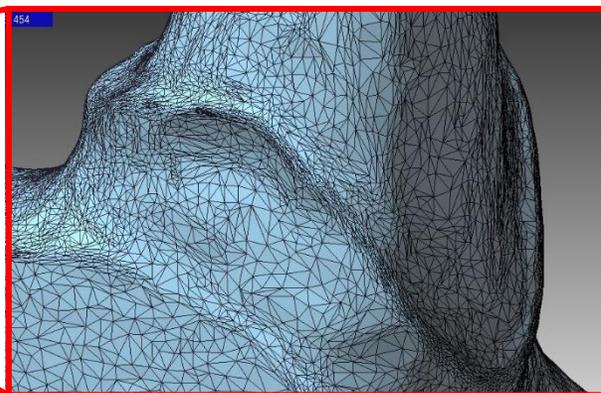
全顎のデータから、片顎のみの模型
データを作成することも可能

3. リメッシュ

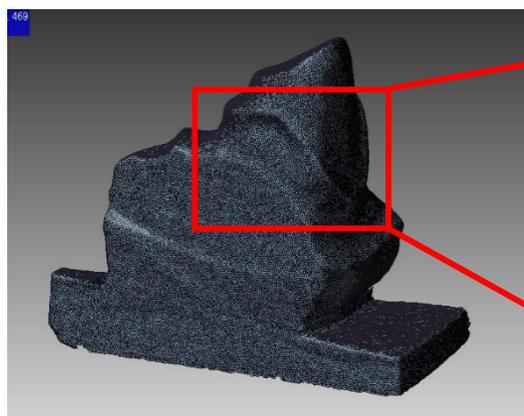
スキャンデータのフェイスを均一化することができます。



スキャンデータ (未修正)



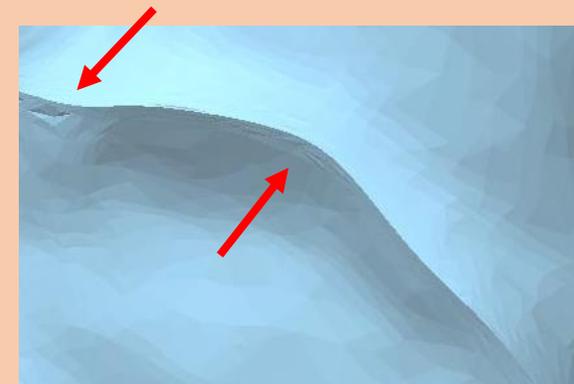
拡大画像 (未修正)



スキャンデータ (リメッシュ後)



拡大画像 (リメッシュ後)



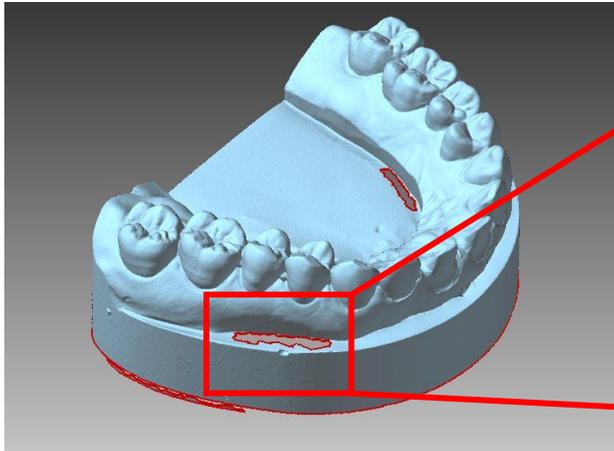
拡大画像 (未修正⇒稜線化)



拡大画像 (リメッシュ後⇒稜線化)

4. 穴埋め

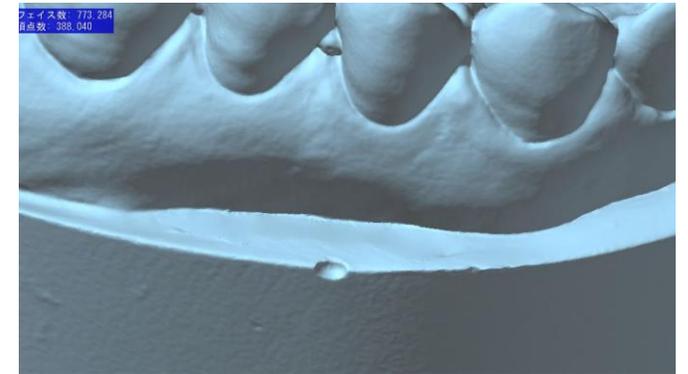
スキャンデータで穴が開いた部分を簡単に埋めることができます。



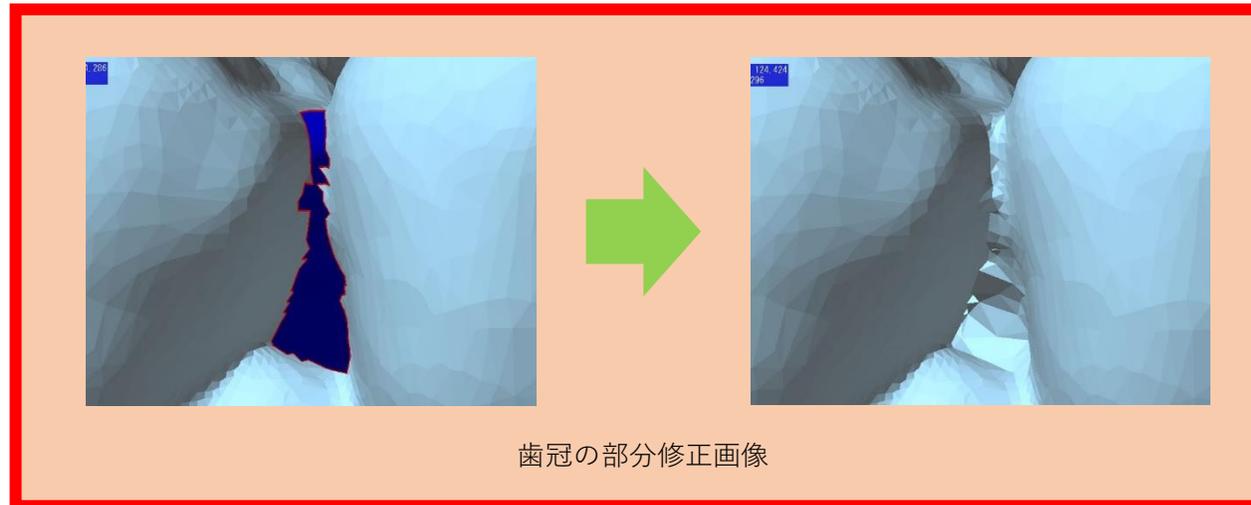
STLデータに穴があいている状態
(赤枠の部分が穴)



拡大画像
(穴埋め前データ)



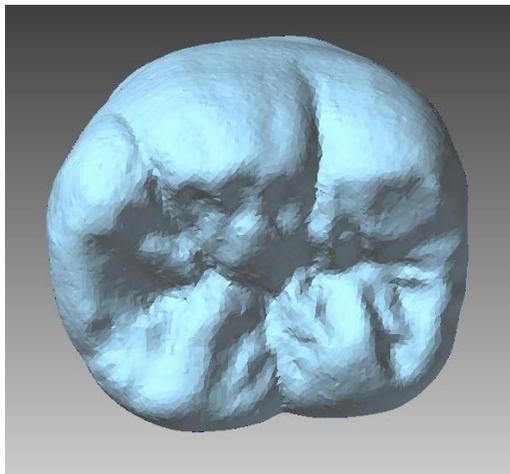
拡大画像
(穴埋め後データ)



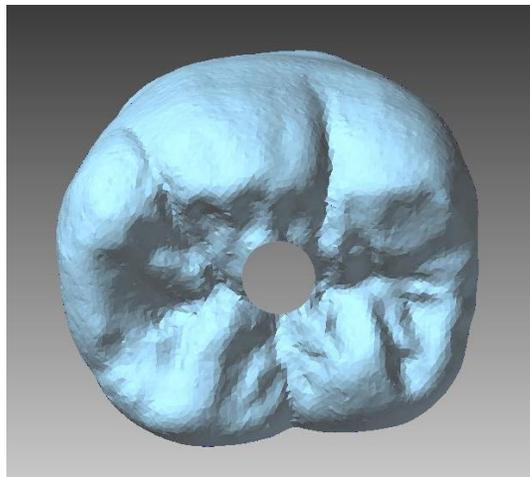
歯冠の部分修正画像

5. 抜き穴あけ

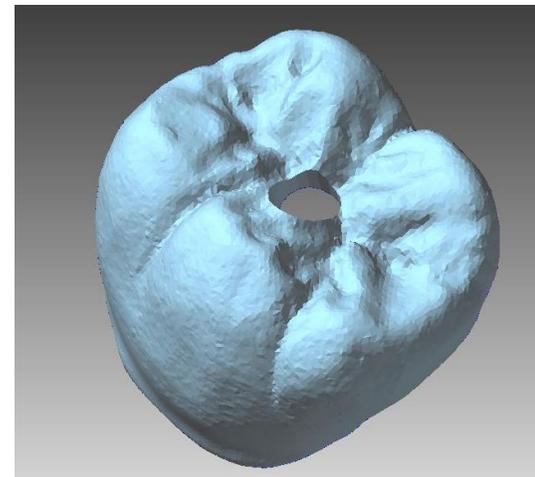
STLデータに貫通穴をあけられます。アクセスホールなどに使用できます。



アクセスホールの空いていない
CADデータ

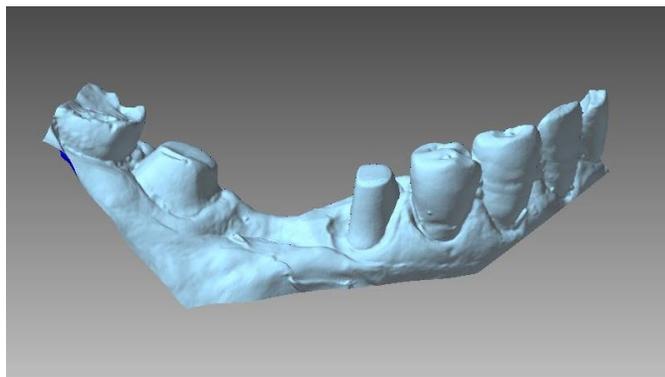


アクセスホールが空いたCADデータ

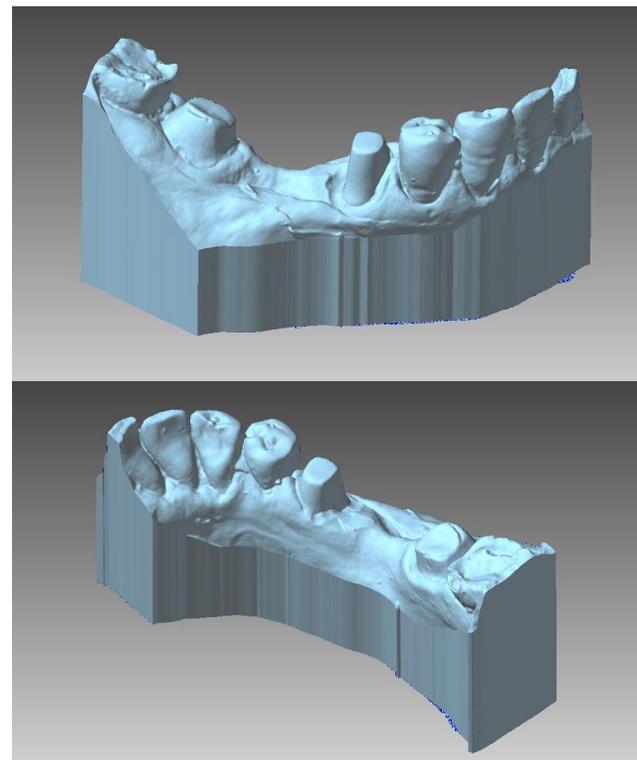


6. 投影立体

押し出しを行う機能です。歯列のスキャンデータを元に、造形用模型に必要な土台のデザインが出来ます。



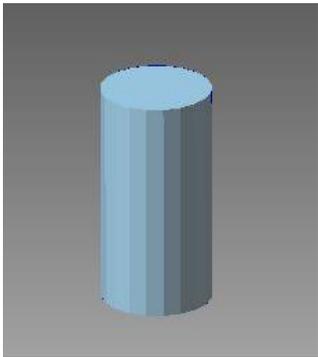
不要な部分を除去した
スキャンデータ



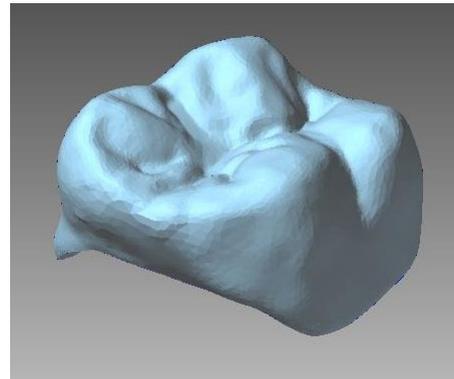
立体投影を行ったCADデータ

7. 基本立体

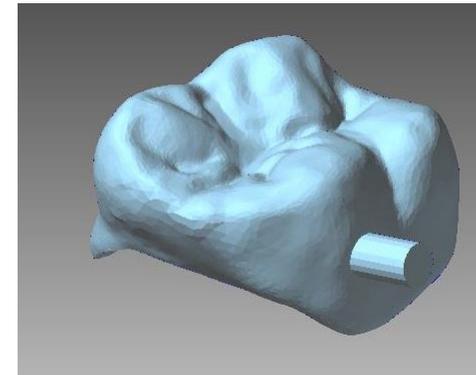
立方体や円柱などの基本的な形状を作成することができます。基本立体で作成したデータを補綴物に配置することで、ノブやインレー用のサポート部分として使用出来ます。



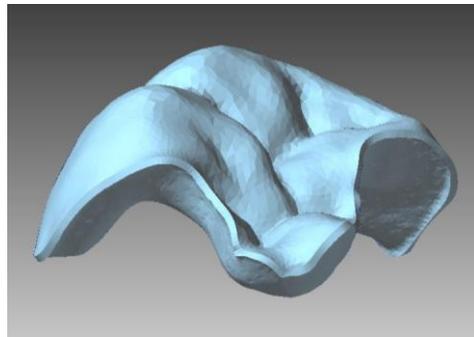
基本立体の機能で作成した
円柱のデータ



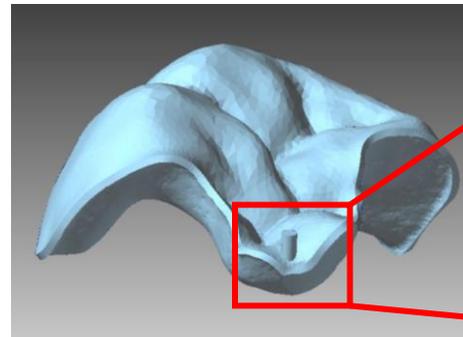
作業前のクラウンデータ



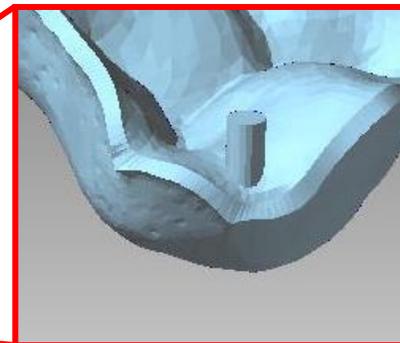
配置機能でノブを付与した
クラウンデータ



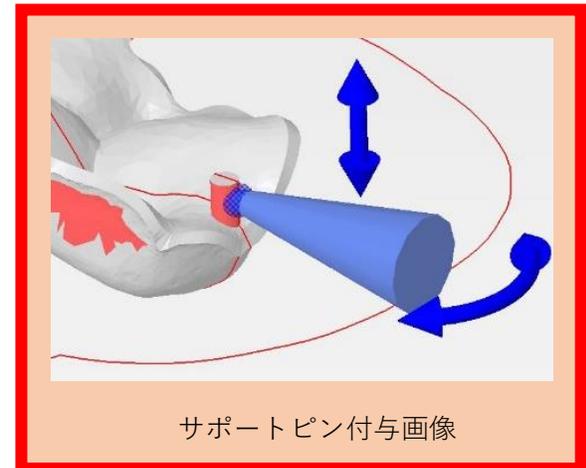
作業前のインレーデータ



サポートピンの補助部分を付与した
インレーデータ



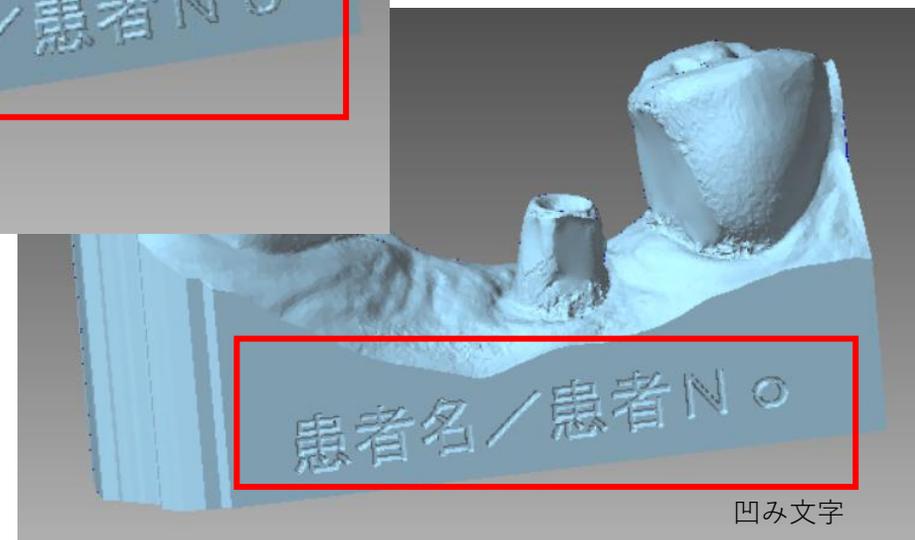
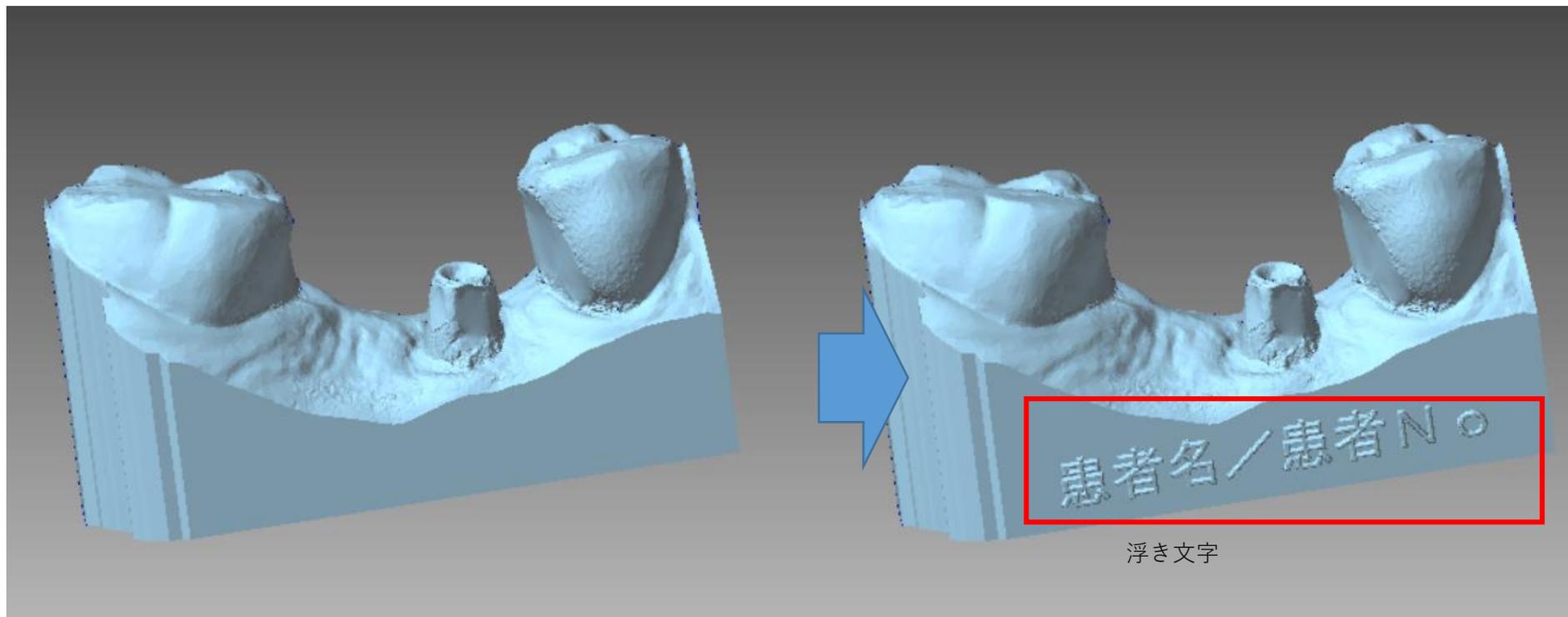
補助部分の拡大画像



サポートピン付与画像

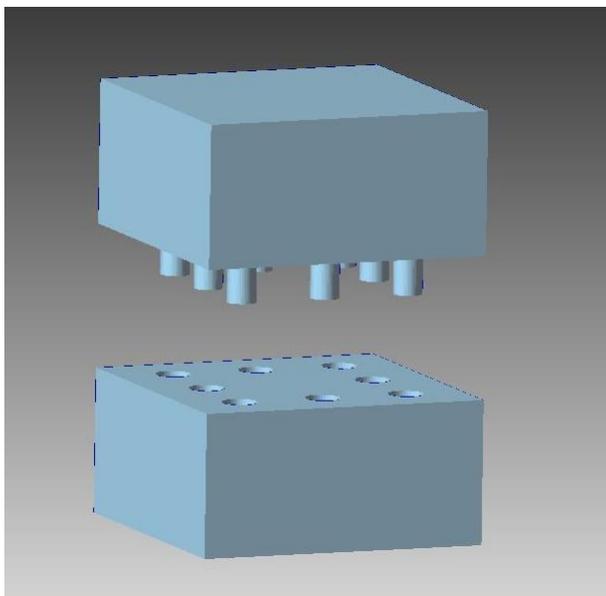
8. 文字レリーフ

STLデータに指定の文字を形成出来ます。3Dプリンター模型に名前などを付与できます。

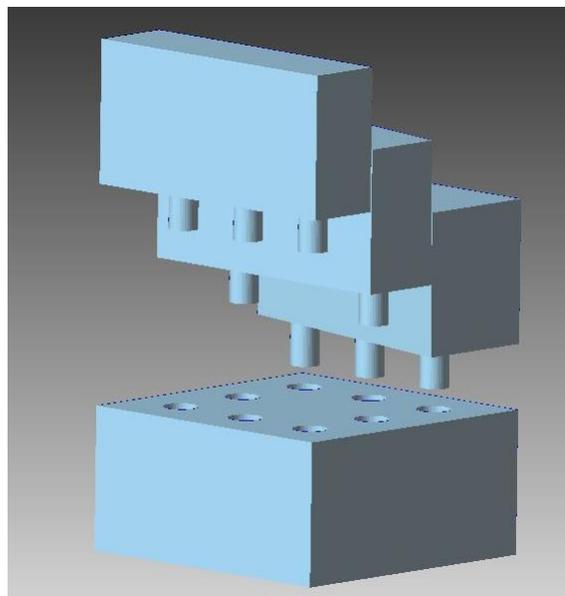


9. ピン付き切断

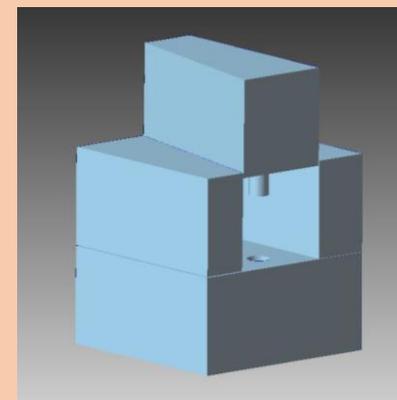
切断面に維持用のピンとピン穴を付与した状態で、切断することが出来る機能です。分割模型に応用できます。



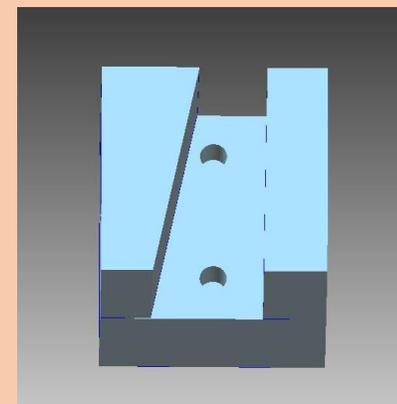
上下を分割した状態



切断機能を使い、
さらに上部を分割した状態



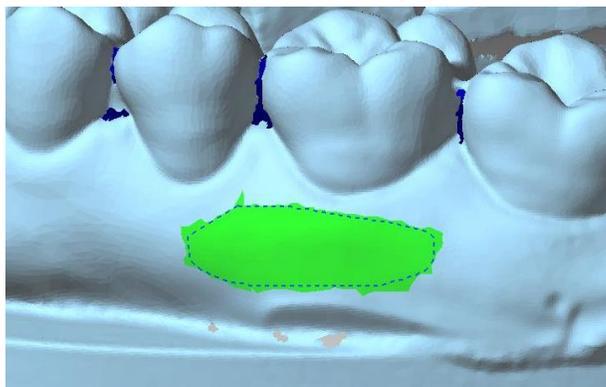
支台歯を抜き差しする
イメージ図



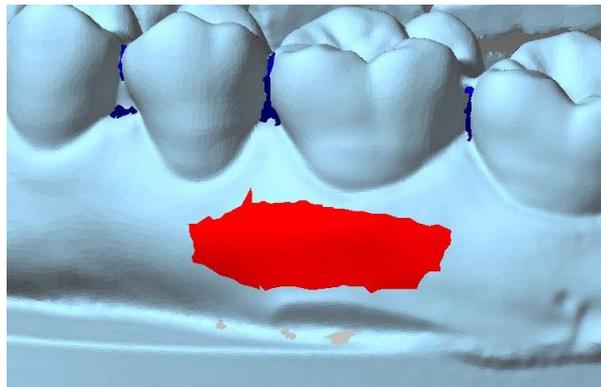
支台歯を抜いたイメージ図

10. 塗りつぶし

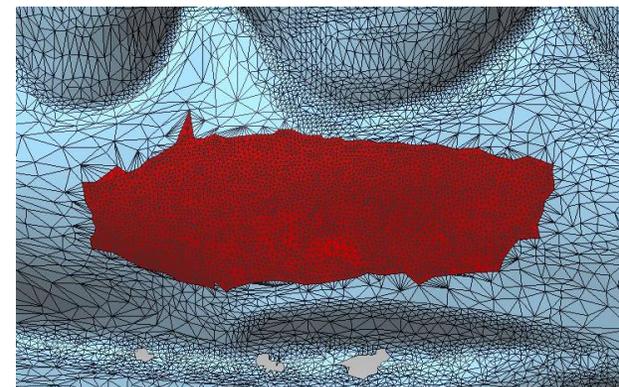
フェイスに色付けをすることが出来ます。編集面の領域選択として使用することが可能になります。



領域選択



塗りつぶし



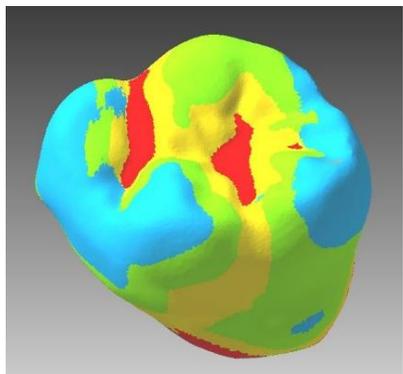
塗りつぶし領域のみリメッシュを行った状態

11. データ計測機能

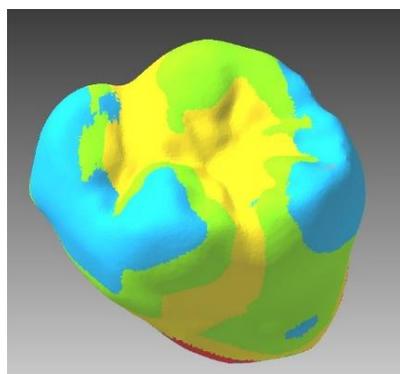
厚み測定：CADデータの厚みを分布図で表示することができます。色分けがされるので、一目でわかるようになります。

クリップ：CADモデルの断面を見ることが出来ます。

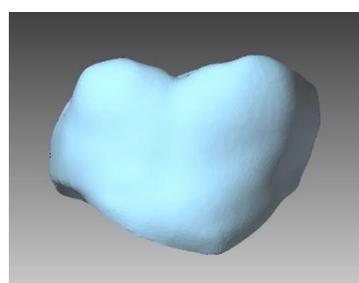
距離測定：指定した2点間の距離を測定することができます。補綴厚みを測定することなどに使用出来ます。



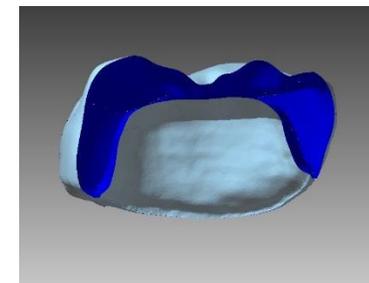
厚みが不足している場合のデータ



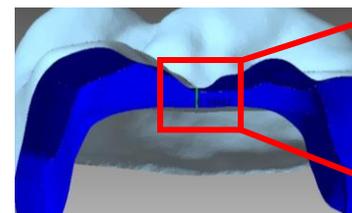
厚みが充足している場合のデータ



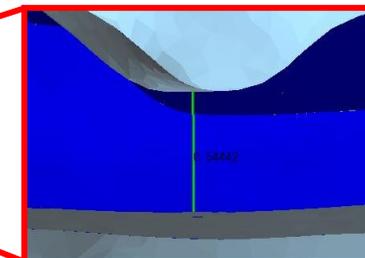
補綴物のデータ



補綴物の断面データ



厚み測定



測定部分拡大画像